



災害×ダイバーシティ セミナー 『原発事故、ひとりひとりの記憶 3. 11から今に続くこと』をもとに

2025年(R 7 年)

1/23(木)

16:20-17:50

埼玉大学では、災害×ダイバーシティセミナーとして、今年度、能登半島地震後の課題、また関東大震災の歴史を振り返るセミナー等を実施してきました。

今回は、『原発事故、ひとりひとりの記憶 3. 11から今に続くこと』を書かれた吉田千亜さんをお招きし、2011年に起きた東日本大震災・原発事故を契機に起きたさまざまな問題について、経験者に寄り添いながら話を聞き、書き記し、伝えてきた立場から、お話をいただき、3・11からいまに続く課題を考えあう時間をつくります。

みなさまのご参加お待ちしております。

会場・埼玉大学 総合研究棟 1号館 シアター教室

埼玉大学(さいたま市桜区下大久保255)へのアクセス
:JR北浦和(京浜東北線)・南与野(埼京線)・志木(東武東上線)からバス

対象・学生&関心をお持ちの市民の方 (どなたでも参加できます)
参加費・無料

進行: 齊藤 正人 社会変革研究センターレジリエント社会研究部門 部門長

ハイブリッド
(対面/オンライン)
開催
対面参加歓迎



『原発事故、ひとりひとりの記憶 3.11から今に続くこと』吉田千亜著、2024、岩波書店(岩波ジュニア新書)



お話し: 吉田 千亜さん

ノンフィクションライター

プロフィール: 福島第一原発事故後、被害者・避難者の取材、サポートを続ける。著書に『孤塁 双葉郡消防士たちの3・11』(岩波書店)、『ルポ 母子避難』(岩波新書)、『その後の福島-原発事故後を生きる人々』(人文書院)。共著『原発避難白書』(人文書院)など。『孤塁』で、講談社 本田靖春ノンフィクション賞(第42回)、日隅一雄・情報流通促進賞2020大賞、日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞(第63回)受賞。

参加方法

お申込フォームもしくは、右のQRコードからお申込みください。

URL <https://forms.office.com/r/2uAdNYttMC>

申込締切: 1/20(月)までにお申し込みください。

21日(火)に、Zoom URLをお送りします。



主催

埼玉大学 社会変革研究センターレジリエント社会研究部門

協賛

埼玉大学 ダイバーシティ推進センター

自然災害研究協議会関東地区部会

お問合せ先

info-iirs@gr.saitama-u.ac.jp (埼玉大学社会変革研究センターレジリエント社会研究部門)